

## H28.11.4 下田認定こども園説明会 概要

日 時 平成 28 年 11 月 4 日（金）幼稚園）午後 1 時から午後 2 時  
保育園）午後 3 時から午後 4 時

場 所 下田認定こども園

出席者 保護者：幼稚園）38 人・保育所）11 人  
市教委：峯岸課長、吉田係長、原主事

### 1 開 会

#### <係 長>

皆様、こんにちは。ただ今から下田市総合教育会議報告書下田認定こども園（幼稚園部）説明会を開会します。私は下田市教育委員会学校教育課学校教育係長の吉田と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。それでは、続きまして峯岸学校教育課長より挨拶を申し上げます。

### 2 学校教育課長挨拶

#### <課 長>

— 学校教育課長挨拶 —

### 3 報告書概要説明

#### <係 長>

ありがとうございました。それでは早速、報告書の概要説明に入らせていただきます。

#### <事務局>

— 報告書概要説明 —

### 4 質 疑

#### <係 長>

それでは質疑に入らせていただきます。いろいろなご意見を伺わせていただきたいと思いますので、ぜひともご発言いただきますようよろしくお願ひします。ご意見のある方は、挙手をお願ひします。

#### 【幼稚園】

#### <保護者(女性)>

現在の下田中学校を見ていると親が送迎をしているケースをよく見ているのですが、統合となると車の台数が多くなるため、送迎をダメにするとかといった検討はされているのですか。

#### <係 長>

親の送迎の部分につきましては、この後、ある程度の方向性が市として定まった時点で、附属機関であります学校統合準備委員会というものがあり、その中で協議、決定がなされます。今回、参考としてなぜ公共交通機関で試算をさせていただいたのかと言いますと、中学生の年代になりますとある程度、社会性という部分も必要であると考えており、その一環として公共交通機関を想定させていただきました。また、現在、人口減が進んでいる中で、地域のお年寄りなどが乗る公共交通機関というものが今後成り立たなくなる可能性もあり、そういった公共交通を維持継続させるため

にも今回の試算をさせていただいたという経緯もあります。今後は、例えばスクールバスの検討も当然行いますが、地域の実情に応じた形で検討させていただきたいと考えております。

#### <保護者(女性)>

4校を1校にするということですが、校舎のクラスなどの面積は既存校舎で実際は足りるのですか。

#### <課長>

下田中学校が一番大きな中学校になるのですが、一番生徒がいたときは約680人おりました。今回、仮に平成33年度の想定ですと、約450人となります。そうであるならば、そのままの校舎で足りるのではないかとお思いになると思われそうですが、実際は足りないと考えております。なぜかといいますと今は昔と異なり、特別支援教室であるとかパソコン教室など指導方法が多様化してきているとともに進路指導室等の設備を整える必要があるためです。仮に下田中を新中学とした場合を想定しますと、現校舎では足りないので、新築となった場合は既存校舎を壊したり、改修となった場合については、既存校舎を回収し、足りない部分については建てるなどの検討がなされると考えております。

#### <保護者(女性)>

実際に統合された際、中学2年生、3年生の制服がバラバラになると思いますが、新たに新調するのですか。

#### <課長>

先ほども説明させていただきましたが、方向性が定まると学校統合準備委員会という附属機関が設置され、そういった細かなことについての取り決めをさせていただく予定となっております。その中で検討内容については、学校名や制服、校歌、校則、通学方法などが決められます。今後、その中で決定される想定をしております。考え方とすれば、既存の制服を卒業まで維持させる方法や新たに再度、統一された制服に新調してもらうことが考えられますが、あくまでも準備委員会の中で協議を進めさせていただきたいと考えております。

#### 【保育所】

#### <保護者(女性)>

再編は既に決定されたことなのですか。またスケジュールをお伺いしたい。具体的にいつ1校に統合されるのですか。

#### <課長>

あくまでも今回の報告書の内容につきまして、1校化や候補地については、いずれも「望ましい」とさせていただいております。よって、市としては方向性を示させていただいたということで、決定ではありません。決して、市が一方向的に決定したということではなく、今回、説明会など実施させていただいておりますが、多くの方からご意見を伺い、できる限り反映をさせていただきたいと考えております。また、再編につきましては、平成33年度以降ということで現在進めております。スケジュールにつきましては、今年度末までに、校長、PTA会長、区長会長さんを集めた検討会議を様々なご意見を伺うために開催させていただき、今年度末までに再編に関する方向性をまとめた報告書を策定します。その後、来年度に入り、再編整備審議会という附属機関に諮問、答申を行い、諮問とはこういったことをしていいのですかというお伺いをし、答申でこういったことについてはこれで良いのではないのでしょうかというキャッチボールを行います。しかし、それでも決定という訳ではなく、その後、教育委員会や総合教育会議で協議調整し、最終的には、市の意思決定機関

であります政策会議にて最終決定がなされるという想定をしております。

**<保護者(女性)>**

1校化になると市内各地からの通学となり、住んでいる地区によって通学費についても差が出てくるとおられます。中学校は義務教育期間でもあるので、ぜひとも住んでいる地区によって差がないような配慮をお願いしたいです。

**<課 長>**

ありがとうございます。仮に統合という現実を見ますと、白浜地区の子どもたちは東中に通学されておりますが、間違いなくその距離や時間、金額についても増えます。そういった部分については教育委員会としても理解しております。全額補助を含め、保護者の方が今以上のご負担がない形で検討させていただきたいと考えております。

**<保護者(女性)>**

通学補助ではなくて、スクールバスなどの検討はされないのですか。

**<課 長>**

当然、スクールバスにつきましても今後、検討させていただく内容だと理解しております。

**<係 長>**

今回、参考としてなぜ公共交通機関で試算をさせていただいたのかと言いますと、中学生の年代になりますとある程度、社会性という部分も必要であると考えており、その一環として公共交通機関を想定させていただきました。また、現在、人口減が進んでいる中で、地域のお年寄りなどが乗る公共交通機関というものが今後成り立たなくなる可能性もあり、そういった公共交通を維持継続させるためにも今回の試算をさせていただいたという経緯もあります。今後は、スクールバスの検討も当然行いますが、地域の実情に応じた形で検討させていただきたいと考えております。

**<保護者(女性)>**

バスの時間などが無い場合、親が送迎することも想定されると思われませんが、その送迎に対する補助というものも検討していただきたい。

**<係 長>**

現時点における想定では、可能な限り公共交通を活用し、バスダイヤを調整するという中で進めさせていただいております。そういったここまでは公共交通で、ここからはスクールバスまたは保護者送迎として、という全体のバランスを見ながら、こういった補助が可能であるのかという部分を今後、検討してまいりたいと考えております。

## **5 閉 会**

**<係 長>**

それでは、これを持ちまして、下田認定こども園の説明会を終了させていただきます。皆様におかれましては、お忙しい中、長時間にわたり、お疲れ様でした。